[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	社会福祉法人長岡福祉会 今里保育園	施設 種別	保育所 (旧体系 :)
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		

平成 26 年 3 月 19 日

総 評	<p>今里保育園は、長岡天神駅近くに団地が建設され、小学校のクラス数が増えるなか、長岡第七小学校の東南に隣接して建設された新設 2 年目の保育園です。</p> <p>南は今里大通りに面し、通りを隔てた東は保健センターに囲まれています。小学校の北側は広い田園地帯があります。</p> <p>園舎は全て自然の木材で建築して、乳児が生活する 1 階は床暖房を設置し、2 階の幼児クラスは廊下を広くとり異年齢の子どもが遊びやすい環境になっています。園庭は広くありませんが、いろいろな遊びを工夫して庭を全て使って元気よく遊んでいました。音楽が流れてくると、異年齢の子どもたちが手をつないで自然に輪を作りだし、朝の体操（毎月変わる）が始まります。音を聴きつけた乳児の子どもがテラスに出てきて、にこにこ真似をする様子に子ども同士で学ぶ姿を見ました。</p> <p>保育園理念の「入園する子どもたちの最善の利益を」「すべての子どもの福祉を積極的に増進する生活の場を」を基に保育をしています。</p> <p>子ども達の発達の連続性という観点から、保小連携を積極的に深め、年 3 回の交流やグラウンドの使用、畑を借りての菜園活動などを行っています。</p> <p>また小学生の登校時間と、保護者が集中する通園時の駐車については、保健センター駐車場の使用許可を得て、出入を一方通行にすると共に、小学校の教師や地域の住民と共に通学路に立ち、地域の子どもたちを見守り、安全確保に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<p>○Ⅱ－２人材育成について</p> <p>保育の基本方針にあるように全職員で情報を共有化して、全園児を見守る姿勢があります。保護者アンケートからも窺えます。</p> <p>新規採用職員については 1 年目の嘱託期間に先輩保育士に保育について学び、2 年目に正規職員になる制度があり、正規職員になった時に意欲を持って保育にあたる姿があり、より人材育成の効果が見られました。</p> <p>○Ⅱ－３地域との交流と連携</p> <p>法人の卒園児の保護者が、遊びながら英語に親しめるように教えにきたり、「絵本ばあば」が週 1 回幼児のクラスに絵本の読み聞かせに来たり、農家の方に菜園活動を教えてもらったりと地域の中で子どもたちが大切にされていると感じました。</p>

	<p>○V-2 子育て支援 定員136名、現員155名を受け入れながら、一時保育をしています。長岡京市は6ヵ月以上育児休業を取得すると在園児は退所という制度でした。「地域の子育て家庭にも保育園の持つ機能を生かして職員一丸となり積極的な支援をしていく」という保育理念の基、一時保育の日数を1日増やし4日にして受け入れています。来年度から制度が変わり、継続して保育を受けられるようになるということです。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>○I-1 保育の理念・基本・目標 会議や保護者会などで、職員や利用者に説明をしているのですが、職員会議録等で確認できませんでした。</p> <p>○I-2 計画の策定 研修・研究などについても中・長期計画を持っていますが、職員会議録などで確認できませんでした。種々の会議録を残すことにより、再度のサービス・支援の内容の振り返りを行うことや、評価・分析が容易となり、今後の目標設定にも生かされるのではないのでしょうか。</p> <p>○II-3 地域との交流と連携 園庭開放をして、見学はいつでも受け入れています。また講演会などは自治会を通して発信しています。しかしホームページで「長岡京市 今里保育園」を検索してもヒットしませんでした（入園家庭には、アドレスを渡しています）。誰でも、いつでも簡単に入手できるような情報を発信できているか確認されることをお勧めします。</p> <p>○VI-2 入所児童の保護者の育児支援 虐待の早期発見について、市の子ども福祉課、民生児童委員、保健師等と常時連携し早期対応に努めていますが、保育園のマニュアルは整備されていません。また児童虐待への照会、通告への連絡先の掲示や明記はありません。一人ひとりの子どもを大事に保育されているので、児童虐待を発見した場合の対応等についてもマニュアルを整備されることで、さらなる保育の充実が図れるのではないのでしょうか。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人長岡福祉会 今里保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成26年1月23日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	B
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	A	B
		I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	A
	I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。			A	A
I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。		① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

I-1-1(1)①保育理念は当園のホームページ、今里保育園概要に明文化しています。
 I-1-1(1)②保育理念のもと、基本方針・保育目標をホームページ、概要に記載しています。
 I-1-2(1)①保育理念、保育方針・保育目標を職員会議で周知をしています。職員会議録などで確認できませんでしたが、職員会議録などで確認できませんでした。
 I-1-2(2)①保護者会や入所説明会で説明しています。園庭開放終了後の見学会などで地域の利用者にも説明していますが、記録などで確認できません。
 I-2-1(1)①保育課程はニーズに応じて毎年計画・見直しをしています。理念や方針などは理解しやすい言葉を検討しています。研修・研究などについても中・長期計画を持っていますが、職員会議録などで確認できませんでしたが。
 I-2-2(1)①保育課程はアンケートや園庭開放等で得た情報を考慮しています。又、研修で学んだ事を参考にして次年度の見直しをしようとしています。
 I-2-2(2)②保育課程を基に年間指導計画・期別指導計画・月別指導計画を作成しており、幼児は週案・乳児は個別指導計画に反映しています。
 I-2-2(2)③④毎月、職員会議や乳児ミーティング・幼児ミーティングで話し合い、自己評価をしています。
 I-2-2(2)⑤園のホームページに掲載しており、懇談会で配布しています。
 I-3-1(1)①業務分担表に表明しています。管理者自らの評価・見直しの方法はありますが、管理者に対する他者評価を検討しています。
 I-3-1(2)①事務室と職員室に規定集を備えて周知しています。
 I-3-2(1)①保育内容・教材・環境整備等について役割分担を決め、職員が希望した担当（子育て支援、音楽リズム、体育あそび、メディア研究・音楽療法研究、造形遊び研究、保健衛生、乳児保育、食育研究）で意欲を持って研修・研究できるようにしています。職員はやりがいを感じています。
 I-3-2(2)②パート職員や正規職員が意欲を持って仕事ができるように、毎日主任保育士と意見交換を行い、より良い職場環境づくりに取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。		A	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A
		② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

【自由記述欄】

II-1-(1) ① 京都府民間保育園協会理事会などで、国や保育の現況を把握し、地域の小学校評議員や民生児童委員と情報交換をしています。自治会に加入して回覧板等で情報などの発信・受信もしています。

II-2-(1) ① 保育士養成大学や短大からの実習を積極的に受け入れて指導し、良い人材を育成し採用基準としています。一年目は嘱託職員としてベテラン保育士とペアになり保育します。担任の評価とレポート提出（遊び・衛生面・ピアノ）試験があります。二年目に正規職員になった時は意欲を持って仕事に取りこんでいます。

II-2-(2) ① 突発休暇は主任や看護師などが応援に入るようにしており、病気や子どもの参観日なども休めています。法人内の卒園生の医師や弁護士などの専門家に相談できるようにしています。

II-2-(2) ② 35歳以上の職員は生活習慣予防健康診断を、35歳以下のパートを含む職員は地元の内科や市町村の健康診断を受診しています。保育園から補助があり、共済会に加入していますが、職員の悩み相談窓口は組織内に設置されていません。

II-2-(3) ① 研修受講の心得に明示しています。

II-2-(3) ② 職務分担表に研究・研修があり本人の意向に沿って計画し、意欲のある職員には研修費を負担して体育指導員の資格取得を支援しています。

II-2-(3) ③ 研修終了後（1～2週間目途）報告書を提出し、平成27年度から変わる「子ども・子育て新制度」などの研修内容については職員会議で発表し共通理解を得ています。

II-2-(4) ① 実習受け入れのマニュアルを整備しています。

II-2-(4) ② 音楽療育や異年齢保育、実習時期に合わせて体験するプログラムがあり、希望を取り入れ担当と連携して計画を作成・実施しています。

II-3-(1) ① 近隣の小学校・中学校の体験学習を受け入れ、市民の「ガラシャ祭り」に参加したり、民生委員・シルバー世代が来園してお餅つきをサポートをしています。また近隣の農家の助言を受けながら野菜を栽培・収穫しています。送迎が集中する時間帯は、保健センターの駐車場の使用許可を得て駐車し、交通安全の為、出入りを一方通行にしています。小学生の通学時間帯は道路に立って小学校や地域住民と一緒に登校時の見守りを行っています。

II-3-(1) ② 園庭開放をして、見学はいつでも受け入れています。また園医による「乳児期の感染症」の講演会などは自治会を通して発信しています。ホームページを作成していますが、「長岡京市 今里保育園」ではヒットしませんでした。入園家庭には、アドレスを渡しています。

II-3-(1) ③ マニュアルに意義・方針が明示され、研修もしています。卒園児の保護者や地域の方がボランティアに来ています。

II-3-(2) ① 社会資源リストを作成し事務所に貼り出し、職員室で閲覧できるようにしています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	B
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(1) ①着脱えやオムツ交換は決まった場所で行われて、トイレも仕切られていますが、プライバシー保護に関する規定・マニュアルはありません。

Ⅲ-1-(2) ①玄関に苦情受付の為にポストを設置し、内容により保育所だよりなどで周知し、第三者委員も設置しています。しかし、入園のしおり・今里保育園概要など保護者への説明資料には掲載していません。掲示物も確認できませんでした。

Ⅲ-1-(2) ②意見や要望には速やかに園長・主任が対応しています。苦情解決マニュアルはありますが、見直しをしていません。

Ⅲ-2-(1) ①同法人施設は3年ごとに受診しています。新設2年目で受診し、評価項目についてはパート職員も含め分析し、に努めています。

Ⅲ-2-(1) ②毎月、全職員が自己評価表（保育理念・発達援助・環境構成・保護者対応・組織的基盤）を提出し、園長・主任が検討・フィードバックし、全職員に開示しています。3学期毎に評価・見直しをしています。

Ⅲ-2-(2) ①子どもの身体状況や生活状況の把握は統一した様式で行われていることを、生育歴・既応症調査票や健康記録で確認できました。

Ⅲ-2-(2) ②子どもに関する記録は個人情報保護規定に基づき、廃棄もシュレッターを義務付けています。守秘義務や個人情報保護に関する職員研修の実施が確認できませんでした。

Ⅲ-2-(2) ③発達に課題のある子どもの個人別ファイルを作成しています。経過や発達について職員会議やミーティングで共通理解するようにしています。

Ⅲ-3-(1) ①ホームページは毎月更新していますが、一般の方にリンクしにくい状態になっているので、早急に改善するとの事です。来年度に向けてパンフレットも作製中です。

Ⅲ-3-(1) ②入園説明時には園概要・入園のしおりを用いて健康面やアレルギーに対しても説明しています。一時保育については、時間や料金について説明し、契約を交わしています。

Ⅲ-3-(2) ①卒園児の保育要録を小学校（7校）に送付し、配慮の必要な子どもの継続性を鑑みて、市内の小学校との連絡会で文書報告し、連携しています。又、転園についても保育要録を送付しています。その後の相談方法については、隣の小学校に児童館（同法人運営）があることや、兄弟がいること、登校時の見守りをしていることなどで話しやすい環境になっているようで、卒園後も「勉強についていけない」「多動」などの相談にのっています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

IV-1-(1)①登園時に、受け入れ担当保育士が保護者に尋ね担任に報告しています。乳児は連絡ノートや連絡ボードに記入欄を設けています。看護師を配置し日々の健康管理に努め、健康だよりを発行しています。
 IV-1-(1)②健康診断等の結果は「健康記録」ノートで保護者に伝え、内容によっては口頭でも伝えていきます。持病のある子どもについては、内科健診時に園の医師に相談しています。
 IV-1-(1)③歯科健診の結果は「健康記録」ノートで保護者に伝え、気になることについては口頭でも伝え、職員にも周知しています。
 IV-1-(1)④感染症のマニュアルがあり、発生した時はホームページや貼紙で通知しています。ノロウィルスの予防対策として、保育士の衣服に除菌・除ウイルス剤スプレーをかけることで、エプロン着用より素早く飛沫感染を防ぎ消毒などの対処ができるようにしています。
 IV-1-(1)⑤菜園で作った野菜でクッキング（クラス・親子）をしたり、天気の良い日はプレイランドやテラスで食べたり、異年齢の食事会などもしています。幼児は献立や食材やについても調査員に説明しながら食事を楽しんでいました。3才児が食器を片づけ、歯磨きを終え弁当箱を一人で包んでいます。毎日の繰り返しの中で包んで結ぶ作業を身につけ、ゆっくりとやり切る姿がありました。

IV-1-(1)⑥ 毎月の給食会議で、調理師・保育士・主任・園長で献立検討をする共に、同法人の調理師が子どもの喫食状況を話しあい、献立検討をし改善しています。

IV-1-(1)⑦ 給食だよりを発行し、親子クッキングや誕生会後に試食会などを実施して調理師と話をする時間を設けています。素材の安全性に留意して作った自家製粉末だしを使用しています。親子で食感を共有しています。行事食（誕生会）はホームページに掲載していますが、夏の衛生面を考えサンプル掲示は止めています。

IV-1-(1)⑧ 除去食が必要な子どもは、保護者が医師の診断書と指示書を提出しています。アレルギー食品は卵・牛乳・サバ・ゴマ・コーン・里芋などがあり、代替品や除去で対応しています。担任と調理師はマグネットやカードを使って誤食に留意しています。

IV-1-(2)① 全室に空気清浄機を設置する等、衛生面に配慮しています。毎週、自主点検表（園庭遊具・室内遊具）で子どもの安全確保に努めています。また職員が自主点検表の改善と結果を把握するチェック欄も確認できました。

IV-1-(2)② 園舎は自然の木で各室違う材木を使って建設し、備え付けの柵や個人ボックスは固定しています。畳は布団1枚が敷ける長方形や正方形のサイズがあり、子どもが遊びや生活に活用できるようにしています。

IV-1-(3)① 子ども一人ひとりとしっかり向き合い、不必要な言葉を用いないように心がけ、連携し、協力し合いながら受容に努めています。

IV-1-(3)② 生活習慣の自立については、個々人に大きな差があるなかでも、就学前には集団生活への対応が徐々にできるように見守りながら保育しています。

IV-1-(3)③ 運動会や発表会、保護者会からのクリスマスプレゼントにも子どもたちの意見を取り入れています。プレゼントは子どもたちが遊びたいことを見つけ、自発性を発揮して遊びこめるような物品を選んでいます。サンタさんからのプレゼントとして頂き、環境作りに取り組んでいます。

IV-1-(3)④ 近くに広大な田んぼや農道があり、自然環境豊かな地域の中にあります。訪問調査日当日には、近くの長岡京記念文化館に、園児が「ヘンデルとグレーテル」の観劇に出かけていました。また、年長児になると毎年、阪急電車やモノレールを使って「万博公園」まで社会体験をする遠足があります。

IV-1-(3)⑤ 職員が、「造形」「音楽リズム」「自然」「体育遊び」「メディア研究」「音楽療法」等、それぞれを分担し、常に保育に生かさまざまな表現活動が自由にできるように取り組んでいます。また、職員の読み聞かせ以外にも、地域のボランティアによる「絵本ばあば」の読み聞かせが毎週1回あり、園児に好評を得ています。

IV-1-(3)⑥ 年少児から当番活動を取り入れ、年齢に応じた役割意識と達成感を得る事や、子ども同士の相互作用がうまく働くように遊びや役割を通じて人間関係が育つように配慮しています。

IV-1-(3)⑦ 年長児には、「英語で遊ぼう」というオーストラリア人講師による歌や遊びを通じて異文化を体験できる取り組みがあります。また、キリスト教保育連盟主催の「いのち、人権、平和」の権利擁護に関する研修に職員が参加しています。

IV-1-(3)⑧ 園児自身が性差があることを自然に気付くことはありますが、保育の中で男女を区別することはなく、先入観による固定的な対応はしていません。

IV-1-(3)⑨ 開設2年目の保育所であり、乳児保育への環境整備もしています。また、授乳についてのマニュアルの中で、「授乳の前に」「保育士の配慮」「授乳が終わったら」ときめ細かく定めています。次に「調乳の手順」や「調理機器の洗浄と方法」等も詳細にあり、乳児保育の為の配慮や整備があります。SIDS（突然死症候群）は5分毎にチェックして表に記入しています。

IV-1-(3)⑩ 畳をうまく活用してすぐに寝ころべる環境を設定することができます。また、1日の保育時間の中で異年齢の子ども同士が遊べる時間や内容をうまく取り入れています。長時間保育には該当しないために、夕食や軽食の提供はありません。

IV-1-(3)⑪ 長岡京市「障害児委員会」や療育保育の「乙訓ボニーの学校」とも連携・協力しています。また、長岡京市の障害児保育の制度を活用しベテランの保育士の加配もあり、市の保健師や職員とも連携してより良い発達が促されるように努力しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	C
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

IV-2-(1)①毎日の送迎の際に気軽に声をかけることで、保護者との日常的な情報交換を行っています。また、年に2回の個人面談や、年1回のクラス懇談会があります。それ以外に誕生日会後の給食試食会や様々な行事を活用して情報交換を図っています。

IV-2-(1)②日々情報交換を行う中で、相談の内容などは必要に応じて記録（乳児は連絡帳・幼児は帳面など）しています。記録にばらつきが生じないように、文章連絡帳マニュアルの記録のポイントに明示しています。

IV-2-(1)③誕生日会後の給食試食会、乳児の親子遠足、幼児の親子クッキングやクラス懇談会、行事参観後の感想等多くの交流や共通理解を得るための機会を設けています。

IV-2-(1)④市の子ども福祉課、民生児童委員、保健師等と常時連携し早期対応に努めています。虐待についての知識もありますが、今年度は虐待対応に関する研修には参加していません。保育園のマニュアルは整備されていません。

IV-2-(1)⑤当保育園では、市の子ども福祉課等と連携して早期対応を行っていますが、児童虐待への照会、通告への連絡先の掲示や明記はありません。

IV-2-(1)⑥保幼小連絡協議会があります。卒園時の保育要録を毎年3月中に小学校に送付し、6月頃には小学校との交流の機会があり連携しています。

IV-2-(2)①当保育園では、入園児定員が136名に対し155名います。その中で可能な限り一時保育を既存クラスに交えながら受け入れています。常時通常保育との交流は可能な状況にあります。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

IV-3-(1)①調理室及び水回りの衛生管理は行き届いています。また、毎日の「調理室の衛生管理点検表」により、詳細にチェックし管理しています。

IV-3-(1)②食中毒に関しては、「食中毒を予防するために」のマニュアルの中に、「特に気をつけたい食中毒」や「衛生面での配慮」等種々の対応マニュアルがあり十分に気をつけています。

IV-3-(1)③園児の事故防止のための器具や備品への配慮・工夫が様々なところに見られます。また、向日町警察署（保育園冊子の表題で確認した後、連絡会については長岡・向日と名前がちがうことは確認しました。しかし、インターネットで調べると長岡警察は有りませんでした）での「幼児交通安全教育指導者研修会」に参加し、「長岡京市幼児交通安全教育の考え方」や向日市幼児交通安全事故対策連絡会の「身近な事故から子どもを守ろう」等の研修会にも参加し、事故防止に努めています。

IV-3-(1)④防災訓練についてのマニュアルのなかで「台風時の対応」「火災時の対応」「地震時の対応」「災害時の役割」等を詳細に規定しています。また「地震発生」「給食室より火災発生」等のきめ細かな訓練も実施しています。

IV-3-(1)⑤「不審者が乱入してきた時の避難マニュアル」や掲示があります。また、主任が受けた向日町警察署での「幼児交通安全教育指導者研修会」に参加した内容を、職員に伝達して不審者侵入時に対応した訓練も実施しています。